

竹取新聞

発行所
株式会社 カグヤ



第153版

理念と実践で
絆を結びます

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一義」の理念のもとに活動しているカグヤクルーの日々の出来事・内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

カグヤグループも
毎日元気に配信中！

カグヤウェブサイト



www.caguya.co.jp

「聴福庵」の情報はFacebookで
f 神家絵本家 聴福庵

研究の大切さ

5月14、15日に日本保育学会が開催されます。その自主シンポジウムに新宿せいが子ども園の園長、藤森先生はじめ、数園の園長先生が集まり、「コロナ禍における乳幼児期の認知・非認知能力への影響について」という内容で研究が行われています。

機会は「子ども主体の保育」を実現し続けるために必要な振り返りの機会なのだと思われました。

そういった意味で、カグヤも改めて考えることがあります。今年度でカグヤも20周年となります。20年という時代を駆け抜ける中で沢山の変化の機会を頂き、成長をさせて頂きました。今こうして新聞を書かせて頂いているのも、子ども主体の保育を追求していくお客様がいてくださるからです。

自分達の働きが本当に「子ども第一義」、そしてお客様に寄り添っているのかを、改めて振り返る機会にもしていきたいと思えます。

しかし、その変化や対応が果たして子どもたちにどんな影響を与えているのかについて研究する機会を設けなければ、子どもたちを見守ることができなくなってしまうのだと思います。この研究という



振り返るといことは、事実から学ぶということ。探求することで、その出来事の意義が見つかるでしょう。

年間受講コース開講！

ミマモリングソフトウェアの年間講座説明会を開催しました。こちらの講座は、ミマモリングソフトを活用するセミナーで、コロナ禍において、これまで以上に園児一人ひとりの発達を見守る重要性が高まり、園同士で保育実践の情報共有が行えたらとはじめたものです。

説明会ではアンケートを実施し、以下のような回答が得られました。

- ①今年1年間、園見学に何回行きましたか？
0回：70% 1回：30%
- ②保育環境を変える機会は1年間にどれくらいありましたか？
年に2回：30% 年に3回：30% 4回以上：35%
- ③園内研修で困っていることはありますか？
回答の多い順に「研修のテーマ」「職員が集まらない」「時間の確保」

コロナ禍において、他園に見学へ行きたくても難しい現状や園内研修のテーマをどうするか悩んでいることや、子どもたちの発達に合わせて保

育環境を見直していることがアンケートから見えてきました。年間講座では、自園の保育環境を振り返ったり、他園の実践レポートが読めたり、実践発表ができる機会もあります。

それぞれの園で行っている保育環境の見直しについて季節ごとに他園と情報交換を行うことで、より保育の質が高まるのではないかと考えています。

この講座は単発でもご参加頂けます。ソフトを活用している園に限り、1回お試し参加も可能です。講座の内容を知りたい方は、説明会の動画をご参照ください。皆様のご参加をお待ちしております！

ソフトセミナー 年間受講コース

2022年度「ソフトセミナー」年間スケジュール

4/5	6/28	7/26	9/27	10/25	12/27	1/31	3/28
-----	------	------	------	-------	-------	------	------

開講時間（13：00-14：45）全日程共通です。

QRコードまたはURLから、説明会の動画をご覧頂けます。
<https://onl.sc/yv1sFNf>

共存すること

東日本大震災から11年が経ちました。カグヤでは毎年3月11日を「大切なことを忘れないDAY」として、起きたことを決して無駄にせず、防災を通して次世代の子どもたちへ伝えたい行動について考えています。

今年は毎週社内で行っている一円対話方式で、「震災から11年で自分が変わったこと、実践するようになったこと」と「子どもたちに伝えていきたいこと」を話し合いました。変わったこと、実践することになったことでは、揺れの少ない地震でも身を守るために机の下に入るようになり、避難場所すら知らな

かったけれど、子どもたちと確認するようになった話。また、震災後に食料の流通が止まった経験から、畑で野菜作りを始めた話など、あの日から学んだことをそれぞれの形で実践していることを知りました。

人間と自然は切り離せないからこそ、自然から学び共存していかなければならないことを改めて感じました。

そして、子どもたちに伝えていきたいことでは、みんなの話から共通して感じたことが、人は一人では生きていけないということ。人は人に支えられ、繋がりが合っ

きていきます。大きな災害が起きた時に助け合えるよう、人と人との関係を大切に生きていってほしいと願います。奇しくも今、世界ではそんな関係が壊れるような悲しい戦争が起きています。戦争は自然災害と違い、人が努力すれば止めることのできるものだと思います。未来を創っていく子どもたちの目に映るのが「共存する姿」であることを願って止みません。



共存していくためにも、いつか来るその日に備えたいですね。

カグヤでは、それぞれが別々の場所においても、お互いの気持ちや様子をクルー同士はもちろん、皆様とも共有できるよう、毎日、ホームページでブログ配信しています。ここではその一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。

おかげさまで20周年



14年前につくられた弊社の「理念ブック」が、20周年の節目に本になりました！上記QRコードよりご注文頂けますので、ぜひご覧頂ければ幸いです。

おかげさまでこの4月1日に弊社は設立20周年を迎えました。これもひとえに、多くのお客様をはじめ、関わって下さった皆様のご支援やご指導のおかげと深く感謝しております。振り返るとこの20年は決して楽な道ではありませんでしたが、それでも私たちが子どもたちに希望を繋いでいくことをあきらめずにいられたのは、14年前に「子ども第一義」の理念

日本の智と慧

「春土用」を味わう

4月17日から「春土用」に入ります。「土用」とは立春・立夏・立秋・立冬直前の約18日間を言い年に4回ありますが、鰻を食べる「夏土用」以外は馴染みがないかもしれません。この土用は「雑節」とも言われ、季節の移り変わりを知らせるものです。先人は常に季節を先取りすることで、タイミングを計りながら変化に適応してきました。ひとつのものが終わるときには既に次のものが始まっている、この重なり合う時間を工夫するところに「ものを繋ぐ智慧」があります。最近は何でもデジタル化さ



「春土用」の期間は、何となくやる気が出ないとか、情緒不安定になると言われますので、ご注意ください！

れ、タッチひとつでパッと変わる世界が増えています。私たちの人生もスマホを扱うように簡単に切り換えることができればいいのですが、人の成長も、信用作りも、また悩みの解決もそうはいきません。ものごとはアナログ的に秒針に寄り添うように少しずつ着実に変化します。たいへいは、ゆつくりと時を重ね、じっくりと時を耐えることよって叶っていくのです。焦らず、大切な変化を見守りたいものです。

を明文化し、お客様も含めて共に志す仲間の存在が大きかったと感じています。また理念のおかげで、私たち一人ひとりが、働く上で大切にしたいと思う初心を尊重し合う文化も生まれました。そんな大切な理念や初心から日々振り返り、仲間と試行錯誤する中で、今では千年先の未来も意識しながら、子どもの憧れる生き方、働き方、組織を追求している毎日です。ここまで歩むことができたのも、やはり皆様の温かい応援があつてこそと改めて感謝しています。

引き続き、子どもたちの声を聴き、子どもたちから学び、子どもたちを信じて見守る先生たちのように、私たちもお客様にとってそんな存在組織であるよう精進し、ご恩返しできるよう努力してまいります。20年ありがとうございました。今後とも末永くよろしくお願い致します。

一期一会庵

創業20周年を振り返り

カグヤは、今年無事に20周年を迎えることができました。

これまでを振り返れば、本当に有難いご縁に恵まれ続けてきた20年でした。

最初の子どもが生まれてから幼児教育や保育の素晴らしさに気づき、感動し、なんとという素晴らしいお志事だろうかと先生方に感謝の気持ちでいっぱいになりました。そして何か私も一緒に子どもたちのためにできないかと試行錯誤しながらお手伝いをはじめたのが起業のキツカケだったのを覚えています。その想いを汲んでくださった方々がさらに豊かなご縁を結んでいただき、私たちが貢献できる場所が次第に広がっていききました。

さらに子ども第一義という理念を定めたことで、子ども主体、子ども中心、子どもを丸ごと信じる保育というものに真に出会うことができました。先生方のご指導のもと、子どもを見守ることの素晴らしさ、そして発達していくことの神秘性など、そこからはずっと学びの連続でした。

皆様に今、使っていただいているミマモリングというソフトウェアも、子ども一人ひとりの「発達」を守るためにどうすればいいかを考え抜いて誕生したものです。今も子どもの発達の神秘性には尊敬と感動ばかりで、GTの保育環境セミナーをはじめ弊社主催のウェビナーでも毎回新発見があり、学ぶ楽しみは少しも尽きません。

私たちの会社は、起業してから素敵な生き方をなさっている先生方との出会いの御蔭さまで今でも仕合せなお仕事をいただき続けております。この大切な20年の節目に、改めてこれまで育てていただいた御恩、またいつも見守ってくださったことへの深い感謝を申し上げます。

会社も20歳ですが、私たちも一緒に歳をとっています。これからも年々益々善い歳を迎えられるよう真摯に精進し、皆様のお役にたち子どもが憧れるような会社になれるよう社員一同、子ども第一義の理念をさらに磨いていきたいと思っております。



編集後記



美しさは今も昔も変わらず…。

創業20周年を機に、この20年の中で何がどう変化したのかを振り返ってみました。

ガラケーからスマホになり、本も音楽も気軽に持ち運べるように。ネットショッピングも当たり前で、夢の話だった車の自動運転も実現。特にこの2年はコロナウイルスにより暮らし方、働き方、人との関

わり方など、ものすごいスピードで「当たり前」が変化しました。

20年前を知らない子どもたちは今見ている世界や大人の姿が「当たり前」になります。これから先世の中がどう変化していくかと、子どもは大人を映す鏡だということを忘れず、物事の本質を受け継いでいきたいものです。(真田由莉)

カグヤは「子ども第一義」の理念を实践し、お客様の発展と自立に貢献していきます



ライトハウス(灯台)
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.050-1744-8823
fax.03-3518-6218

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

働き方と暮らし方の一致
暮らしフルネスについて

